

平成30年9月5日



国土交通省

九州地方整備局宮崎河川国道事務所



宮崎県

県土整備部河川課

記者発表資料

侵食対策の効果・影響について検証を行います

～宮崎海岸侵食対策検討委員会「第7回効果検証分科会」を開催します～

宮崎海岸の侵食対策については、宮崎海岸侵食対策検討委員会、同技術分科会、同効果検証分科会、宮崎市民談義所等における、専門家、市民等の意見を踏まえ対策を進めています（別紙①参照）。

今回、第7回効果検証分科会を開催し、平成29年度に実施した調査結果（海象、測量、環境調査等）に基づいて、侵食対策（養浜、突堤、埋設護岸）の効果・影響の検証を行います。

【宮崎海岸侵食対策検討委員会 第7回効果検証分科会】

○日 時：平成30年9月14日（金）13：30～15：30

○場 所：宮崎県企業局庁舎1階 県電ホール〔宮崎市旭1丁目2番2号〕（別紙②参照）

○内 容：平成29年度に実施した調査結果に基づく効果検証
平成30年度後期以降の調査実施計画（案）の検討

○会議の公開について

一般の方に公開します。

会場の都合上、先着30名程度の入場とさせていただきます。

【参 考】

「宮崎海岸の侵食対策」とは？

3つの柱からなるプロジェクトです。これまでに失われた宮崎海岸（宮崎港北端～ツ瀬川河口間）の砂浜を回復・維持するために、①養浜等を実施し、②突堤を整備します。

また、砂丘が海岸に面しているため急激な侵食の危険性がある区域（大炊田海岸の一部、住吉海岸の一部）においては、浜崖頂部高の低下を防ぐために、③埋設護岸を整備します。

報道機関の皆様へ

○議事途中での撮影は、議事進行の妨げにならないようお願いします。

○議事途中での質問等をご遠慮ください。

なお、会議終了後に取材対応の時間を設けますので、質問等はその際をお願いします。

発表記者クラブ

宮崎県政記者クラブ、宮崎市政記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省 九州地方整備局 宮崎河川国道事務所

TEL 0985-24-8221(代表)

○副所長（河川担当）

岩崎 征弘

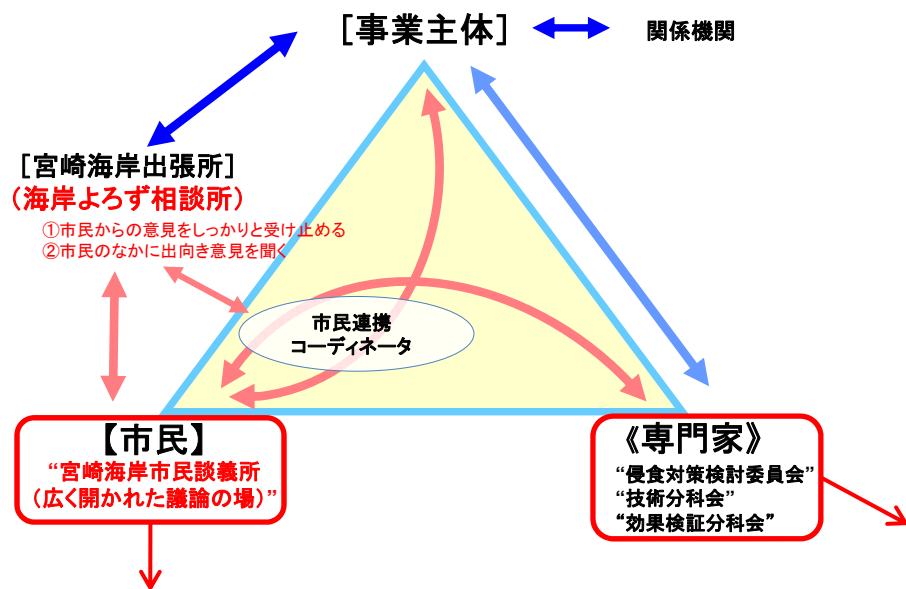
○海岸課長

東 和彦

ホームページ：http://www.qsr.mlit.go.jp/miyazaki/

宮崎海岸の検討体制

～委員会、技術分科会、効果検証分科会、市民談義所～



宮崎海岸侵食対策検討委員会

- ・今後は、侵食対策の計画段階から、侵食対策の実行・確認(必要に応じて修正)段階へと移行するため、委員会の設置目的を追加・変更して、現委員会を基本としつつ発展させた委員会を継続する。
- ・毎年1回以上開催し、調査結果等から、侵食対策の効果・影響を確認し、侵食対策の継続または修正の必要性等について協議する。

宮崎海岸市民談義所

- ・今後も「広く開かれた議論の場」として継続する。
- ・さらに、興味・関心のある多くの市民が参加できる機会を作っていく。
- ・市民と連携した調査も模索していく。
- ・調査結果の報告、侵食対策実施状況、それらの修正・改善等について談義していく。

技術分科会

- ・委員会の付託により、技術的な検討が必要になった場合に適宜開催し、検討する。

効果検証分科会

- ・委員会の付託により、侵食対策の効果検証について、毎年1回以上開催し、検討する。

今回開催



**宮崎海岸侵食対策検討委員会
第7回効果検証分科会**

日時：平成30年9月14日（金）
13:30～15:30

場所：宮崎県企業局 1階 県電ホール

※お車でお越しの方は、駐車場入口で受付をお願いします。